

大島節

□□□

ハアー
わたしゃ 大島 御神火育ちよ
胸に煙がサー
絶えやせぬよ

ハアー
竹の一本橋にや
細くて長くてしなしな
しなつて
危ないけれど
わしと主さんが渡るにやサー
こわかないよ

ハアー
千両箱を山と積んでも
いやなおかたは
わたしはいやだよ
一文無しでもサー
主がよいよ

大島節

東京都民謡

□□

1.
ハアー
わたしゃ 大島
御神火育ちよ
胸に煙がサー
絶えやせぬよ



2.
ハアー
細くて長くて
しなしな
しなつて
危ないけれど
わしと主さんが
渡るにゃサー
こわかないよ

3.

ハアー

千両箱を山と

積んでも

いやなおかたは

わたしはいやだよ

一文無しでもサー

主がよいよ

大島節

アア
わたしゃ 大島 御神火育ち
胸に煙は絶えやせぬ

□□

アア
つつじ椿は 御山を照らす
殿の御船は 灘照らす

相模灘をば 両手で拝め
可愛い旦那ツ子の 乗るうちは

うつつ心で 柱にもたれ
起きていながら 主の夢

胸にせんばの かやたくとても
煙出さなきや 主や知らぬ

わたしゃ大島 一重の桜
八重に咲く気は さらにない

大島節

□■

アア
わたしや 大島 御神火育ち
胸に煙は絶えやせぬ

アア
つつじ椿は 御山を照らす
殿の御船は 灘照らす

アア
相模灘をば 両手で拝め
可愛い旦那ツ子の 乗るうちは

大島節

アア

■ ■
うつつ心で 柱にもたれ

起きていながら 主の夢

アア

胸にせんばの かやたくとても
煙出さなきや 主や知らぬ

アア

わたしや大島 一重の桜

八重に咲く気は さらにない